

## 第97回評価専門調査会及び追加書面における主な意見

### (1) プログラムとプロジェクト、課題との関係、研究資金制度について

- プログラムとプロジェクト、課題の関係について、丁寧かつわかりやすく記述すべき。
- 「1. 研究開発プログラム意義等、(2) プログラム設定の基本的な考え方」の中に、プロジェクトの関連付けによるプログラム化を追加してほしい。
- 研究資金制度をプログラムとしてまとめていくことについて、もっと踏み込んで書いてほしい。

### (2) 追跡評価及び追跡調査について

- 追跡評価をより積極的に位置付けて実施対象を拡大すること、全てのプロジェクト、研究開発課題について、追跡調査を行うことが望まれることを記述してほしい。
- 必要な成果指標としてどのような情報やデータを収集できるかをプログラム開始前の段階で検討すべきではないか。

### (3) アウトカム指標、アウトプット指標について

- 例示をし過ぎることにより、アウトカムとして製品を作らなければならないかのような誤解を与えかねないため、どこまで例示するか検討が必要ではないか。
- 定義を厳密にすることよりも、プログラムがもたらす意図した結果であるアウトカムを中心にしていこうという方向性が伝わるのが大事。
- 定義を日本語にする方がわかりやすい。例えば、アウトプットを「活動指標と呼んでもよい。」アウトカムを「目標実現化指標と呼んでもよい。」としてはどうか。

### (4) 被評価者の明示・評価実施体制について

- 独立した評価部門の設置についてさらに書き込んでほしい。

- 研究開発プログラム及び研究開発課題の評価における被評価者について明確に位置付けるべき。
- (5) 評価にかかわる人材育成について
- 評価にかかわる人材の能力向上の必要性、調査分析の重要性について、WG のとりまとめに沿った内容を入れてほしい。
- (6) プログラムオフィサー、プログラムディレクターについて
- 常勤化については、公務員の定数削減の中で厳しいのではないか。
- (7) 評価結果の公表について
- 評価結果について、被評価者がどのように活用し、改善に役立てたのかについて、一般的に広く公表することを盛り込まないと実効性の観点で問題がある。
- (8) その他
- 全体の方向性として、プログラム評価の導入とアウトカム指標を用いた評価に変えていくことがわかるようにすべき。
  - (参考)として入っている、「研究開発課題の主要な類型の評価の実施方法」はここに入っているのが適切なかどうか。課題ごとよりも上のレベルでの評価が重要という方向性からすると違和感がある。
  - ハイリスク研究等の研究を振興するにあたっては、それに応じた目標設定が求められるものであり、それに対する評価も他の研究とは異なる点を意識していくことが必要。(参考)の記述を削除してしまうと、この点を意識することが抜けてしまう。(参考)は必要な部分ではないか。
  - 研究開発プログラムの評価の導入・拡大に伴い、研究開発課題の階層における評価を簡略化できるのではないか。
  - 政策体系とアクションプランはどのような関係にあるのか。